

平成28年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(水球)
第84回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球)

水球競技戦評

期日：平成28年8月17日(水)～20日(土)
会場：児島マリンプール

ゲームNo.

1

帽子の色 白

帽子の色 青

山形工業高校

宮崎工業高校

12	<table style="border: none; text-align: center;"> <tr><td>2</td><td>-</td><td>2</td></tr> <tr><td>2</td><td>-</td><td>1</td></tr> <tr><td>4</td><td>-</td><td>1</td></tr> <tr><td>4</td><td>-</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>PS</td><td></td></tr> </table>	2	-	2	2	-	1	4	-	1	4	-	4		PS		8
2	-	2															
2	-	1															
4	-	1															
4	-	4															
	PS																

天候： 晴れ

審判1： 福元 寿夫

審判2： 木下 晃次

戦評

22年ぶりの出場となった宮崎工業と、その当時、幾度も対戦した山形工業との因縁の対決で2016倉敷インターハイの熱戦の火ぶたが切られました。

第1ピリオド、宮崎工業の攻撃中の反則から山形工業がカウンター攻撃、ゴール前に②鈴木君が泳いで宮崎工業のGKの退水を誘い、そのパワープレーを④阿部君が決めて山形工業が6:51に先制。しかし宮崎工業はすぐさま、⑥黒岩君のフローターシュートを決めて、同点に(6:25)。その後、宮崎工業側の攻撃中の反則に乗じて、4:32に山形工業②鈴木君がグループシュートを決めて山形工業がリード。宮崎工業はGK①肥後君がタイミングよく飛び出して山形工業のゴール前の攻撃を防ぐ展開に持ち込み、タイムアウトを利用して⑥黒岩君が退水を誘発し、トップ位置から④朝廣君が決めて再び同点に。

第2ピリオドも一進一退の攻防が続く中、宮崎工業③松原君のシュートを山形工業GK①山川君が好セーブし、そのチャンスを②鈴木君がドライブして山形工業が3-2とリードを奪います(5:38)。しかし、宮崎工業は第1ピリオド同様に、すぐさまセンター⑥黒岩君にボールを集めて追いつきます(5:22)。その直後の山形工業もセンター④阿部君が決めて、山形工業が4-3と1点リードで前半を終了しました。前半戦は山形工業の攻撃を宮崎工業のGK①肥後君が果敢に前に出て防ぐ展開となり、接戦となりました。

第3ピリオド、山形工業の攻撃中の反則から宮崎工業⑦加藤君がトップ位置から切れのいいシュートを決めて宮崎工業が4-4に追いつきます。しかし、山形工業は宮崎工業④朝廣君のシュートをGK①山川君が冷静に読み切って止めると、そのままカウンター攻撃に。⑩結城君が中央から決めて再び山形工業がリードを奪います。このころから、山形工業の守備が安定し、宮崎工業の攻撃を先き回りして防ぎ、4:11の退水プレーを⑨加藤君が決めると、次々にカウンターの波状攻撃。2:13には②鈴木君がゴール前までボールを運んでペナルティを誘発し、そこを⑧齋藤君が決めて一気に引き離しました。第3ピリオドを終えて8-4と山形工業がリードして最終ピリオドに。

第4ピリオドも完全な山形工業ペースが続き、6:12の⑧齋藤くんがゴール前で華麗なタッチシュートを決めるなどして、このピリオド前半で11-4と差を広げました。その後は、山形工業の攻撃もやや雑になり、シュートミスや攻撃中の反則などから宮崎工業④朝廣君が連続得点して追いつきますが、最終的には12-8という4点差で山形工業が初戦を突破しました。22年ぶり出場の宮崎工業は残念ながら初戦敗退となりましたが、GK①肥後君の積極的なディフェンスからの攻撃力には今後期待が持てるものがありました。

記録者

土居 陽治郎

平成28年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(水球)
第84回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球)

水球競技戦評

期日：平成28年8月17日(水)～20日(土)

会場：児島マリンプール

ゲームNo.

2

帽子の色 白

鳥取中央育英高校

4	2	-	10	30
	1	-	6	
	0	-	8	
	1	-	6	
		PS		

帽子の色 青

秀明英光高校

天候： 晴れ

審判1： 潮崎 正一

審判2： 伊藤 晃二

戦評

鳥取中央育英高校は創立110周年の記念すべき年に上位進出を狙っています。対する秀明英光高校は、覇権奪回を目指す優勝候補筆頭のチーム。この両チームは過去に幾多の名勝負を繰り広げています。

第1ピリオド開始早々、秀明英光⑦田中君がドライブして先制。しかし鳥取中央育英も果敢に攻撃を仕掛けて、ターンオーバー時に⑧植村君が退水を誘発し、ゴール前に泳ぎ込んだ②原田君が見事に決めて1-1に追いつきます。ここで優勝候補の秀明英光にスイッチが入り、怒涛のカウンター攻撃の展開に。特に、鳥取中央育英側の攻撃がセンターの③川上君へのロングパスということを読み切ったことで、秀明英光②土橋君が次々にインターセプトして連続得点していきました。第1ピリオドを終えて秀明英光が10-2と大量リードを奪います。

第2ピリオドに入ると、鳥取中央育英側が攻撃人数を少なくして失点を抑える作戦に出ましたが、それでも秀明英光の攻撃は続きます。その中でも少ないチャンスを鳥取中央育英のセンター③川上君が相手の裏側に回って決めて追いつがります。しかし、このピリオドは鳥取中央育英側が攻撃権放棄が3本と、パスを出すことも容易ではない状態になり、なかなかボールが前線にまで回りません。ボールの接点での反応や泳ぎで優位を保つ秀明英光ペースは変わらず、16-3というスコアで前半を終えました。

第3ピリオドもほとんど同じような展開になりますが、秀明英光側は相手ゴール前で自由にパスを回しからの得点が増えてゆきます。鳥取中央育英は防戦一方になりますが、わずかなチャンスから⑧植村君がペナルティを誘発しますが、③川上君のシュートがわずかに外れてしまうなどの不運も重なって、このピリオドは無得点に終わりました。第3ピリオドを終えて24-3と秀明英光が優勝候補らしい王者の戦いを示しました。

第4ピリオド序盤、鳥取中央育英のセンター③川上君が退水を誘発し、そこを確実に決めて4点目。しかし秀明英光はメンバー全員が積極的にボールを奪ってシュートにまで結びつけてゆきます。このピリオドは特に⑥山田君がパスコースを読み切ったのインターセプトからの攻撃が続きました。第3ピリオド途中から交代したGK⑬高橋君も好セーブやインターセプトからチャンスに導くなどして30点の大台に乗せたところでゲーム終了。結局、フィールドプレイヤー11人が全員得点を挙げるなどした秀明英光が大差で初戦を突破しました。

敗れた鳥取中央育英ですが、センターの③川上君の力強いプレーや攻撃の起点を作ることに長けている1年生の⑧植村君など、随所に王者を脅かすプレーを発揮しました。2年生以下が多いチームなので、今後の成長が期待されます。

記録者

土居 陽治郎

平成28年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(水球)
第84回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球)

水球競技戦評

期日：平成28年8月17日(水)～20日(土)

会場：児島マリンプール

ゲームNo.

3

帽子の色 白

宇都宮東高校

17

4	-	1
4	-	3
4	-	1
5	-	3
PS		

帽子の色 青

西京高校

8

天候： 晴れ

審判1： 若林 和人

審判2： 佐藤 國寛

戦評

インターハイ3度目の出場となる山口県西京高校と2度目の出場となる栃木県宇都宮東高校の激突。カウンターでもセットでも決められる両チーム。好ゲームが期待されます。

第1ピリオド、6:30宇都宮東⑧見目君のインターセプトからのカウンター攻撃を④島崎君が決め得点。5:52に宇都宮東⑥渡邊君のフローティングからのシュートで、4:32には宇都宮東④島崎君がカウンターで決め連続得点。反撃したい西京は3:32②中野君がフローティングから一瞬の隙を突き得点。流れを戻したい宇都宮東は2:01退水から⑤青木君が得点し、宇都宮東4-1西京でこのピリオドを終えます。

第2ピリオド開始早々、宇都宮東は第1ピリオドでも見せたカウンターから展開し、7:35④島崎君が決め、宇都宮東5-1西京。西京は退水誘発を出すものの、パワープレーでのシュートが決まらない展開が続きます。嫌な流れになりそうな雰囲気を払拭するように5:45西京⑦田頭君がシュートのリバウンドを押し込み5-2。しかし、4:28退水から宇都宮東④島崎君がしっかり決め6-2と再び4点差。3:36西京は④鈴木君がフローティングからのシュートを決めると11秒後には負けじと宇都宮東の⑥渡邊君もフローティングから得点。このピリオドは交互に得点を取り合う形となり、前半を終了して宇都宮東8-4西京。

第3ピリオド序盤から西京はシュートまで行くものの決まらない反面、宇都宮東は第1ピリオドにみられたカウンター攻撃からフローター中心の攻撃に切り替え、連続得点。なんとか得点したい西京も④鈴木君を中心に球を集め、攻撃の展開をねらいますがラストパスに対応されたり、宇都宮東のGK①清水君に阻まれ得点できません。1:22宇都宮東⑧見目君のノータイムからのループシュートが決まり、点差を広げます。0:11西京④鈴木君がミドルシュートを決めて追いつきますが、西京はこのピリオドこの得点のみ。第3ピリオドを終えて12-5と宇都宮東のリードは変わりません。

第4ピリオド西京はフローティングからペナルティーファールを誘発。3度のペナルティーシュートを④鈴木君⑤伊藤君⑥木村君がそれぞれきっちり決め3得点。一方の宇都宮東も⑥渡邊君がフローティングから退水誘発。そのまま得点するなど4得点を挙げた。結局17-8で宇都宮東高校が初戦をものにしました。

宇都宮東の序盤のカウンター攻撃も見事でしたが、西京が流れを変えたい所で宇都宮東GK①清水君の好セーブや前に出たのインターセプトで主導権を渡さなかったことと、パワープレー決定率(宇都宮東80% 西京11%)がこの勝敗に大きく影響した結果になりました。西京は3年生の2名が起点となりよく試合を作り、チームを引っ張っていた。1、2年生が多く今後の成長、活躍も楽しみなチームです。

記録者

金原 直樹

平成28年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(水球)
第84回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球)

水球競技戦評

期日：平成28年8月17日(水)～20日(土)

会場：児島マリンプール

ゲームNo.

4

帽子の色 白

向陽高校

11

5	-	2
3	-	2
0	-	2
3	-	3
PS		

天候： 晴れ

帽子の色 青

鳥羽高校

9

審判1： 榎橋 邦広

審判2： 井上 嘉隆

戦評

インターハイ予選となる近畿大会でも戦った同ブロックの対戦。予選会では鳥羽13-11向陽で鳥羽が辛勝した形ですが、本番となる全国大会ではどうなるか非常に興味深い一戦です。

第1ピリオド序盤の鳥羽の攻撃を向陽GK①大林君が前に出てインターセプトすると、そのまま右サイドを泳いでゴールに迫ったレフティー④木村君がタイミングのいいシュートで向陽が先制。直後も、鳥羽の攻撃権放棄からカウンター攻撃で②田甫君が決めて2-0(5:52)。さらに、②田甫くんが退水を誘発し、またもや④木村君が決めて3-0。焦った鳥羽のシュートミスを突いて中央ドライブから⑥河合君が、さらに⑤山根君が中盤のボールの競り合いを制してそのまま持ち込んでシュートを決めて、前半5分であっという間の5-0。序盤の先制攻撃でリズムが狂った鳥羽ですが、守備から攻撃へつなげる本来の姿を取り戻し、⑧増井君、⑩竹村君が連続して退水を奪って2点を返して第1ピリオド終了(向陽5-2鳥羽)。

第2ピリオド序盤は鳥羽ペース。⑧増井君のインターセプトから自身で直接決め、さらに退水を誘発して⑪藤井くんが決めて、向陽5-4鳥羽と急接近。この流れを向陽②田甫くんがセンター位置から決めて断ち切ると、⑤山根君が退水を誘発してそのまま決めて突き放しました。第2ピリオドを終えて、向陽8-4鳥羽。

勝負がかかった第3ピリオドは鳥羽の守備が変わって、ゾーンで守るようになり、向陽はボールキープするも決定機を作れず、鳥羽ペースに。典型的だったのが、向陽が攻撃権を放棄した直後、日本ユース代表の鳥羽②大本君がゴール前に泳ぎ込みペナルティを誘発し、自身で決めて点差を詰めた場面でした。その後も、向陽のシュートをGK⑬村田君がセーブして再び②大本君が中央から決め、2点差に詰め寄りました。

最終ピリオドもゾーン守備からの攻撃で鳥羽が主導権を握り、7:17に⑩竹村君がペナルティを誘発してエース②大本君が決めて1点差。試合の行方が混とんとしてきたのですが、一瞬の間隙を向陽⑥河合君がセンターポジションで決めると、鳥羽の攻撃パスを次々にインターセプトして加点(ペナルティ含む)。第4ピリオド中盤で向陽11-7鳥羽と突き放して安全圏に。最後は鳥羽の意地のカウンター攻撃で2点差に詰めるも、向陽11-9鳥羽とインターハイ予選での借りを返した形になりました。

特に向陽の1年生の④木村君、⑥河合君がキーとなって活躍した姿が印象的で、昨年の和歌山国体では不完全燃焼だっただけに、次の明大中野戦が楽しみです。

記録者

土居 陽治郎

平成28年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(水球)
第84回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球)

水球競技戦評

期日：平成28年8月17日(水)～20日(土)

会場：児島マリンプール

ゲームNo.

5

帽子の色 白

長浜北星高校

18

4	-	1
3	-	2
4	-	0
7	-	3
PS		

天候： 晴れ

帽子の色 青

黒沢尻工業高校

6

審判1： 木下 晃次

審判2： 潮崎 正一

戦評

今年の国体開催県ということで意気上がる岩手県の黒沢尻工業と近畿ブロックで勝ち上がった長浜北星との一戦は、お互いがカウンターของทีมではないことからゴール前でのギアチェンジした攻撃とそれへの対応力が勝負を分けるものと思われます。

第1ピリオド、長浜北星の攻撃を黒沢尻工業のGK①菊池君が守って④菅崎君が決めて、黒沢尻工業が先制。しかし、その後は黒沢尻工業の攻撃を十分に読んだ長浜北星側が有効なパス出しやスペースを与えず、逆にゴール前でのドライブ攻撃に黒沢尻工業が退水。そこを着実に⑦水谷君や⑧山瀬君が決めて4-1とリードして長浜北星がゲームの主導権を握りました。

第2ピリオドの序盤は、お互いに攻撃時のミスが目立ち一進一退が続きましたが、黒沢尻工業の攻撃権放棄から一気に呵成に攻めた長浜北星⑤小山君が退水を誘発し、③杉本君が確実に決めて5-1に。このピリオドはボールの接点プレーでの両チームともに退水プレーが続きましたが、黒沢尻工業側の決定力が不足して点差が詰まりません。しかし0:38には黒沢尻工業⑦寺尾君がセンター位置から決めて長浜北星7-3黒沢尻工業という4点差で前半を終えました。

第3ピリオドに入ると、黒沢尻工業のスタミナが切れ始めたのか、シュートやパスミスからのカウンター攻撃で長浜北星が4連続得点し、一気に引き離しました(長浜北星11-3黒沢尻工業)。

第4ピリオドも長浜北星の中心選手である⑦水谷君や⑧山瀬君のインターセプトから決定機を作り、さらに加点。しかし、黒沢尻工業もスピードはないものの、相手ディフェンスを回しこむプレーで前進し、ドライブや退水プレーで追いつぎます。特に⑤今野君や⑦寺尾君などはボールキープ力もあって、長浜北星側はたびたび防御ラインを突破されていましたが、どうしても孤立した形になりがちで、うまく攻撃の形にならないまま長浜北星18-6黒沢尻工業で試合終了。

黒沢尻工業は次の国体で悲願の1勝を目指してさらにレベルアップを図ってほしいものです。ボールを持たない選手がボール保有選手にうまく絡めるようになれば、ゴール前でのシュート力などがあるだけに面白い存在となるでしょう。また、長浜北星はゲームリーダーの⑦水谷君に⑧山瀬君⑩森川君という1年生コンビが縦横無尽に動くことで、相手チームには脅威となることでしょう。次の準々決勝ではレベルアップしたゲームを期待したいものです。

記録者

土居 陽治郎

平成28年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会(水球)
第84回日本高等学校選手権水泳競技大会(水球)

水球競技戦評

期日：平成28年8月17日(水)～20日(土)

会場：児島マリンプール

ゲームNo.

6

帽子の色 白

大分商業高校

18

2	-	0
5	-	1
5	-	0
6	-	2
PS		

天候： 晴れ

帽子の色 青

高松南高校

3

審判1： 伊藤 晃二

審判2： 佐藤 國寛

戦評

昨年のインターハイに引き続き初戦での対戦となりましたが、大分商業は創立100周年、高松南は創立105周年とどちらも大分、香川それぞれの県で伝統のある高校。両チームカウンターチームではないため、回し込みやドライブでの攻防が見どころとなると予想されます。

第1ピリオド両チームともにドライブからシュートにまで行くものの、大分商業の攻撃は高松南GK①小林君のファインセーブに阻まれ、また高松南のシュートは枠内に飛ばず一進一退に。お互い退水を誘発しますが、パワープレーも決まらない展開が続きます。3:40大分商業が交代者とともに退水者も入水し、オーバーメンバーでゲームエクスクルージョン。高松南にペナルティースローが与えられるものこれも決められず、お互い無得点が続きます。均衡を破ったのは大分商業。⑤岩崎君の退水誘発から③久米君が得点。0:48には大分商業が退水をしのいでからのカウンターを③久米君が再び決め、第1ピリオドを終えます(大分商業2-0高松南)。

第2ピリオド6:08大分商業が第1ピリオド終了間際と同じような退水をしのいでからのカウンターで②川本君が得点。ここからお互いカウンターでの決定的チャンスをつくれないうまく少ない人数での攻防が続きますが、4:40大分商業⑨仲間君のカウンター攻撃が決まり得点。大分商業はこの後2本のペナルティーフアウルとフローティングからの得点でこのピリオド5得点。得点の欲しい高松南は④松本君が回し込んでシュート態勢に入ったところをたまたま大分商業GKが上から沈め、ペナルティを誘発。本人がそのまま決め、待望の初得点。前半終了時点で大分商業7-1高松南。

第3ピリオド高松南がカウンターを仕掛けるものの、大分商業GK①藤本君がファインセーブ。流れを相手に渡しません。高松南がやや根負けしたところに大分商業のカウンターがまた発動するようになり、パワープレーも含めて5得点し、試合を決定づけました(大分商業12-1高松南)。

第4ピリオドも大分商業がパワープレーとフローティングから連続得点をあげます。一矢報いたい高松南は4:24②川本君がフローティングから得点。2:40②松浦君と⑧横山君の2人で攻め込み、⑧横山君が回し込んでチャンスを作って連続得点。この後大分商業は3得点し、大分商業18-3高松南で試合終了。

常に泳ぎ続けてチャンスを作った大分商業に軍配が上がりましたが、高松南も敗れはしたものの最後まであきらめずに得点を狙いに行く気迫に拍手を送ります。

記録者

金原 直樹